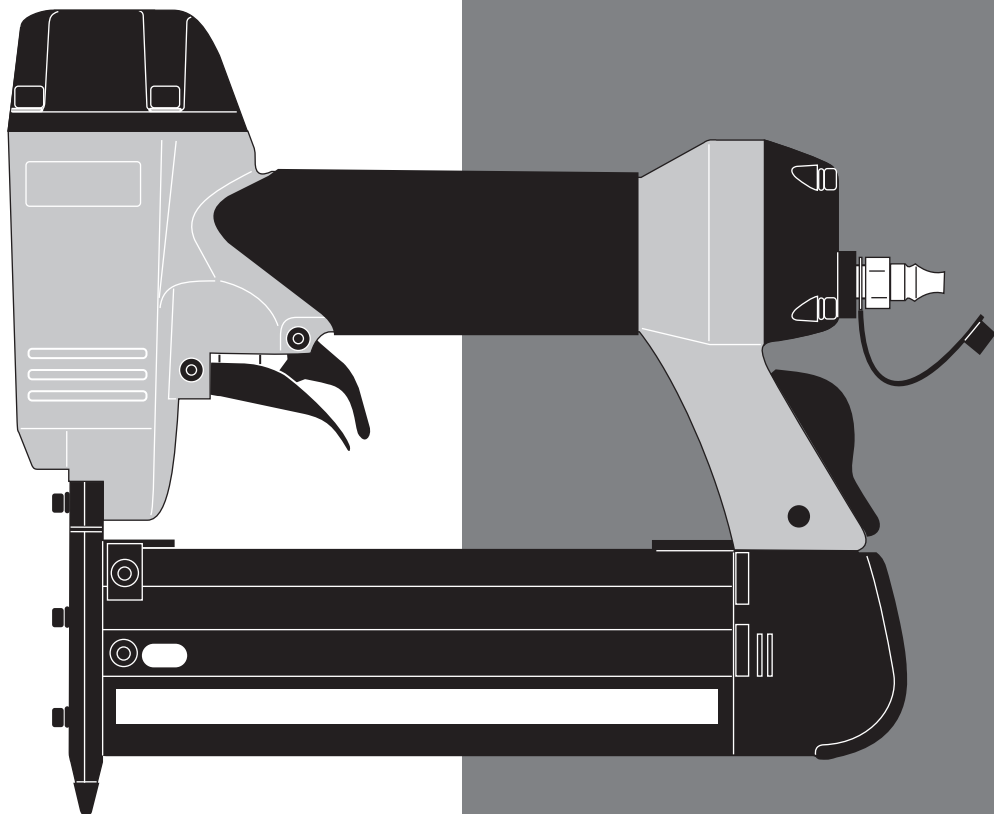


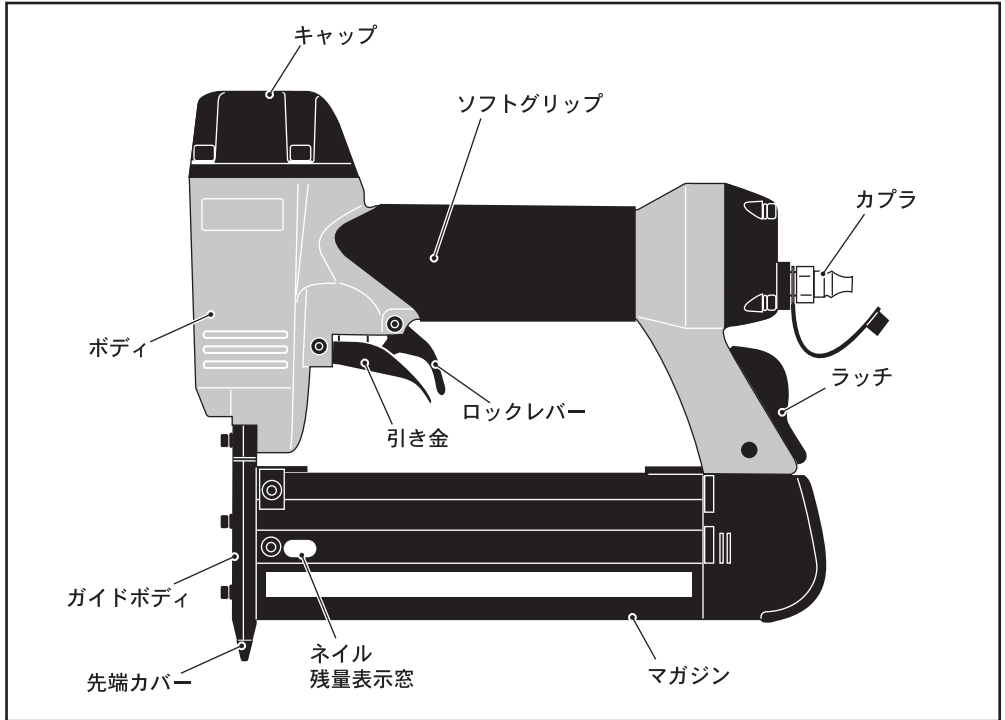


取扱説明書及び 安全作業の手引

モデル SMP35L エア釘打機 (ピンネイル)



センコエア釘打機をご購入戴き誠にありがとうございます。
本機は住宅内装仕上用その他
木作業用に設計されたものです。
本機の使用上の安全と正しい作業のため、
取扱説明書をよくお読みください。



安全上のご注意

現場の使用者・作業の方へ

- ・現場の責任者は、この取扱説明書に含まれている「安全作業の手引き」やその他の説明に作業者が従うよう指導してください。
- ・本機を使用するすべての人々にこの取扱説明書が見える様一定の場所へ保管してください。
- ・子供の手の届かないところへ保管してください。

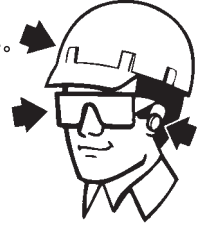
目次

	ページ
安全作業の手引き -----	3
使い方 -----	5
日々の点検 -----	6
釘の打ち方 -----	7
エア釘打機 (ピンネイル) 仕様 ----	7
故障と対策 -----	8

本機をご使用になる前に「安全作業の手引き」「安全にご使用いただくために」を充分読んでください。
 子供の手の届かないところへ保管してください。



必ず安全メガネ、耳栓及びヘルメットなど、保護具をしてください。



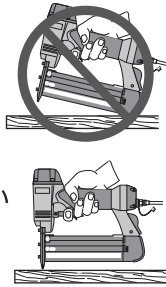
酸素、炭酸ガスは絶対に使用しないでください。
 爆発の恐れがあります。



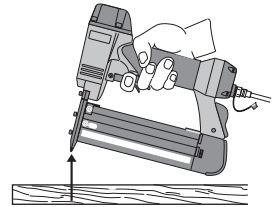
釘打機には必ず釘が入っているという想定で、いつも注意して取扱ってください。



釘が飛んで怪我のもとになりやすいので、打込み済の釘の上から、又浅い角度での釘打はしないでください。
 硬すぎる材料に釘打する場合は、完全に打込めない場合もあります。



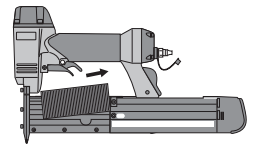
跳ね返りが起きる事もありますので、機体をしっかりと押さえて使用してください。



引き金、ロックレバー、及びスプリングがこわれて動かなくなったときは、絶対にその釘打機を使用しないでください。
 引き金、ロックレバーの改造などは絶対にしないでください。



釘を入れたままエアホース（カプラ）をつなぐと釘が発射するおそれがありますのでエアホース（カプラ）をつなぐ前に必ず釘をすべてぬいてください。



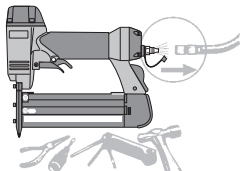
安全作業についてのラベルの貼られていない釘打機は使用しないでください。もし、ラベルを紛失あるいは損傷した場合はお買い上げの販売店または、リョービ販売営業所に連絡の上、新しいラベルをつけてください。

- | | | |
|--|------------------|--|
| <p>1. 使用前には必ずこのラベルと取扱説明書をお読みなさい。正確な取り扱い方法について使用時本人や他人に多大な危険を与えるおそれがあります。</p> <p>2. 必ず作業中に保護メガネ(サイドカバー付き JIS T 8146、T 8147)又はそれに同等のものを着用してください。</p> <p>3. 絶縁、二重絶縁構造の方式は決して許さないでください。絶縁劣化や劣化が顕著なものは取り替えます。常に清潔で乾燥し新鮮な圧縮空気(最大0.8 MPa)を使用してください。</p> | <p>警告</p> | <p>4. 釘打機には必ず釘が入っているという想定で、いかなる理由でも取り除かないでください。釘は引寄せを引くと釘が発射される機構になっています。</p> <p>5. 本機を改造して使用しないでください。</p> <p>6. エアホースの接続、及び電気的接続、又は使用中は本機を自分あるいは他人に向けないでください。</p> <p>7. 周囲の状況に応じてヘルメット、耳栓、防護メガネなどの保護具を使用してください。</p> |
|--|------------------|--|

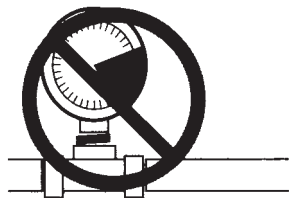
足場の不安定な場所での作業は避けてください。



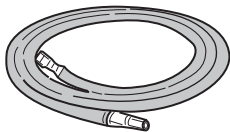
釘打機の点検・修理時、釘の装填時、つまった釘を取除く時、他の場所へ移動させる時、または他の人に手渡すときは必ずエアホース(カプラ)をはずしてください。



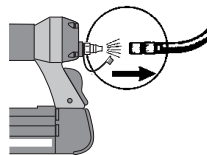
0.8MPa(8.3気圧)以上の高圧で使用しないでください。



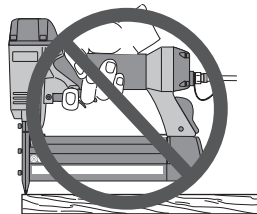
使用エアホースは、最低1MPa(10.3気圧)、あるいは使用エア圧の1.5倍の空気圧に耐えられるものを使用してください。



カプラからエアホースを取外したとき、工具内のエアが抜け出るカプラを使用してください。



材料の端部分への打込みは材料が飛んだりする恐れがありますので、際打ちはしないでください。

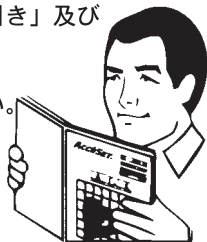


人体に向けて釘を絶対に発射しないでください。

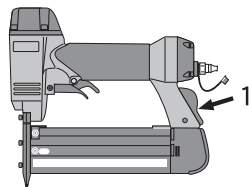


釘の装填方法

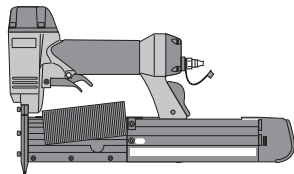
- 1) 本機をご使用になる前に必ず「安全の手引き」及び「安全にご使用いただくために」を読んでください。



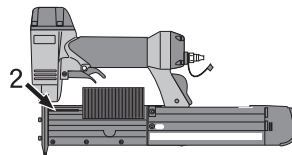
- 2) ラッチ（図の矢印1）を押してマガジンを後方にスライドさせて開きます。



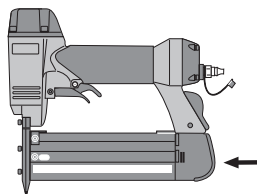
- 3) マガジンに釘を入れてください。純正のセンコ製の釘のみをご使用ください。



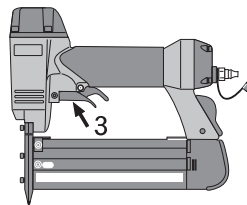
- 注**長さ35mmの釘を装填する場合には、マガジンを後方一杯までスライドさせ、ガイド部（図の矢印2）の後から釘を入れてください。



- 4) レールがクリックされるまで、マガジンを前方に押してください。

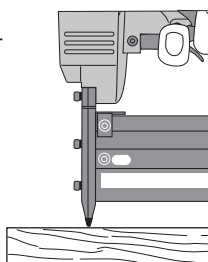


- 5) 釘の装填時、引き金（図の矢印3）に指をかけないように注意してください。

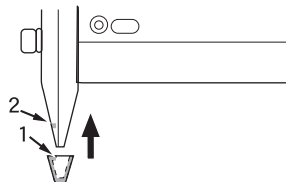


先端カバーの取付け

作業面を保護するため、付属の先端カバーを取付けてご使用ください。



先端カバー中の凸部（図の矢印1）がガイドボディの穴（図の矢印2）に入るように先端カバーを押し込んで取付けます。取外しは先端カバーの前側から下に外します。

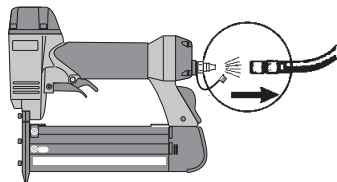


釘づまりが起きた場合

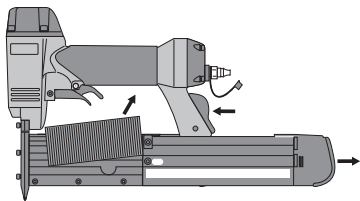
- 1) 本機をご使用になる前に必ず「安全の手引き」及び「安全にご使用いただくために」を読んでください。



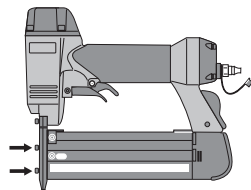
- 2) 釘づまりを起こしたらまず、エアホース（カプラ）をはずしてください。



- 3) ラッチを押してレールを開き、マガジン内の釘を取出してください。

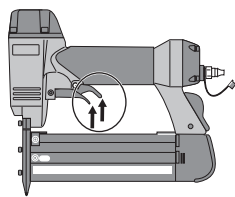


- 4) ガイドボディ部のネジ（4本）をゆるめ、ガイドボディを外し、つまった釘を除去してください。

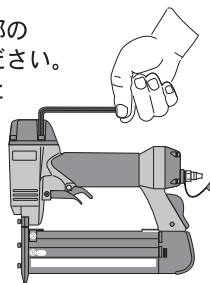


日々の点検

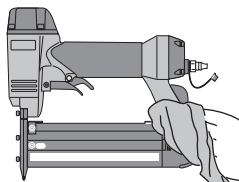
エアホースをはずした状態で引き金、ロックレバーがスムーズに動くことを毎日点検してください。引き金、ロックレバーがくっついたり引っかかる場合は使用しないでください。



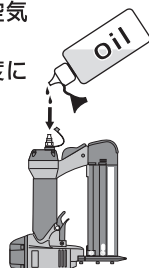
ご使用前には必ず各部のネジ類を点検してください。ネジがゆるんでいると使用上危険で、故障の原因となります。



毎日釘打機をきれいにふいて、破損していないかよく点検してください。Oリングやその他部品を損傷させる恐れがありますので非可燃性の溶剤は使用しないでください。

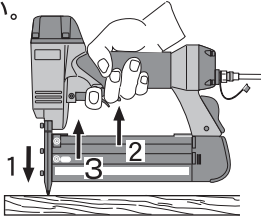


エア釘打機用のオイルを空気口に2～3滴、3週間毎または釘1箱を使用する度に注入してください。



釘の打ち方

作業面に釘打機を水平に当て、ロックレバーを引いた状態で引き金を引いて釘を発射してください。

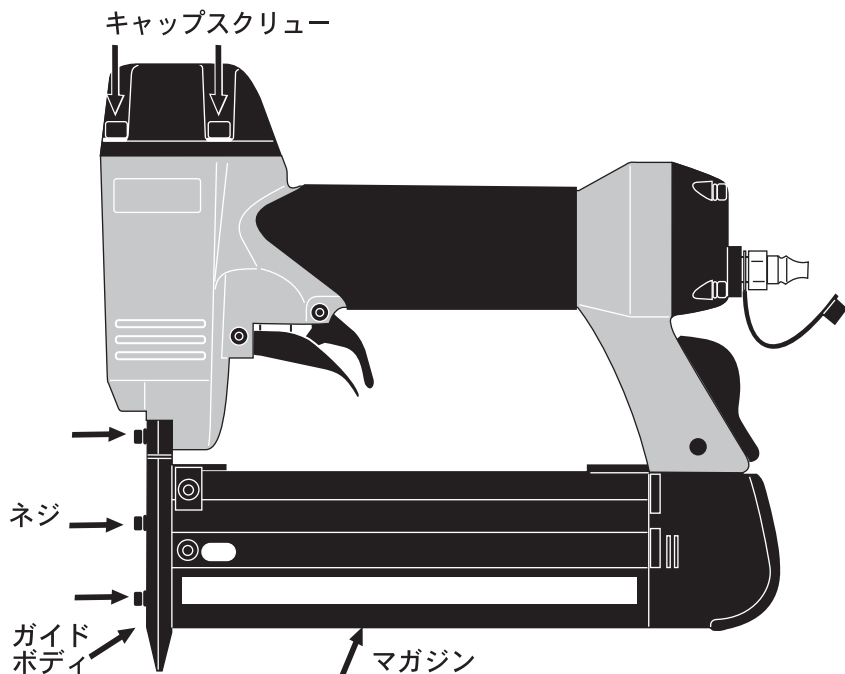


安全第一

本機を安全に使用していただく為常に「安全作業の手引き」「安全にご使用いただくために」に従って作業してください。

エア釘打機（ピンネイル）仕様

モデル	SMP35L
使用釘長さ	19・25・30・35mm
釘装填数	100本
発射方式	単発（ダブルトリガ方式）
使用空気圧	0.49～0.78MPa（5～8気圧）
使用ホース	内径6mm以上
寸法	長さ230mm×幅45mm×高さ192mm
質量	1.07kg
付属品	キャリングケース、保護メガネ、オイル(30ml) 六角棒レンチ3mm、先端カバー、本取扱説明書



故障	対策
キャップ廻りからエアもれ。	キャップスクリューを点検、増締め。
引き金を引いても反応しない。	空気圧を点検。
ボディの下部からエアもれ。	ネジの点検、増締め。
ドライバーの戻りが悪い。	機体を清掃。
打込み力が弱い。	空気圧を点検。
釘の送り不具合。	機体、マガジン部を清掃。
釘づまり。	機体、マガジン部、ガイドボディ部を清掃。
<p>上記対策で直らない場合や、その他の不具合の場合には、お買い上げ販売店または最寄りのリョービ販売営業所にお問い合わせの上、点検修理をご依頼ください。</p>	